



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 KIホールディングス株式会社

コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 掛川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成26年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	32,340	19.6	4,846	72.5	4,673	48.1	3,239	22.1
25年9月期第2四半期	27,041	△8.3	2,809	10.9	3,155	72.2	2,652	98.8

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 4,214百万円 (△6.9%) 25年9月期第2四半期 4,528百万円 (120.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	78.14	—
25年9月期第2四半期	64.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	54,214	15,730	25.0	326.63
25年9月期	43,038	11,516	23.6	244.89

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 13,541百万円 25年9月期 10,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,300	17.9	4,800	94.1	4,500	54.9	2,800	22.7	67.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成26年4月24日)公表いたしました「平成26年9月期第2四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	41,587,061 株	25年9月期	41,587,061 株
26年9月期2Q	128,177 株	25年9月期	124,199 株
26年9月期2Q	41,461,049 株	25年9月期2Q	41,447,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成26年9月期の個別業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	200	△ 48.9	△ 1,200	—	1,100	△ 8.9	1,800	△ 16.6	43.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

個別業績予想の修正については、本日（平成26年4月24日）公表いたしました「平成26年9月期第2四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の景気刺激策や円安、株価の上昇等を受け企業業績の改善が見られるなど、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門が国内向け、中国高速鉄道事業向けともに売上増となったことにより、前年同期比増となりました。

電気機器関連事業につきましては、交通システム部門が売上増となったものの、照明、情報システム両部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

住設環境関連事業につきましては、住設機器、環境システム両部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比19.6%増の32,340百万円となりました。

損益につきましては、中国子会社の増益に加え原価低減及び経費削減の効果等により営業利益は前年同期と比べ増加し、経常利益、四半期純利益につきましても、これを受けて前年同期と比べ増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は売掛金の増加10,105百万円、原材料及び貯蔵品の増加600百万円などにより、前連結会計年度末に比べ11,680百万円増加し、39,817百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の減少386百万円、建物の減少125百万円などにより、前連結会計年度末に比べ503百万円減少し、14,396百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ11,176百万円増加し、54,214百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の増加4,887百万円、支払手形の増加1,345百万円などにより、前連結会計年度末に比べ6,962百万円増加し、38,484百万円となりました。純資産につきましては、四半期純利益3,239百万円、少数株主持分の増加825百万円などにより、前連結会計年度末に比べ4,213百万円増加し、15,730百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益4,675百万円、仕入債務の増加5,989百万円などの増加に対し、売上債権の増加11,489百万円、たな卸資産の増加662百万円などの減少により、1,641百万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出30百万円などにより、35百万円の使用となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入による増加1,312百万円（借入金の返済による支出と相殺後）などにより、1,062百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は3,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ586百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正を行っております。

海外市場において、中国高速鉄道の事業拡大により中国子会社の販売が計画を上回ったことにより、予想に比べ増収、増益となったものであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	3,500	3,400	2,400	57.88
今回実績(B)	51,300	4,800	4,500	2,800	67.53
増減額(B-A)	4,300	1,300	1,100	400	—
増減率(%)	9.1	37.1	32.4	16.7	—

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用等により、前々連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしましたが、前連結会計年度では2,282百万円の当期純利益を計上し、当第2四半期連結累計期間においては3,239百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limitedをはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第2四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第2四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化および希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,430	3,263
受取手形	2,553	3,650
売掛金	11,586	21,692
有価証券	1,020	1,104
製品	3,469	3,606
仕掛品	2,533	2,585
原材料及び貯蔵品	2,756	3,357
繰延税金資産	78	91
その他	821	585
貸倒引当金	△112	△120
流動資産合計	28,137	39,817
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,483	3,358
構築物(純額)	28	25
機械装置及び運搬具(純額)	235	212
工具、器具及び備品(純額)	196	157
土地	3,059	3,059
有形固定資産合計	7,003	6,812
無形固定資産		
電話加入権	26	26
その他	233	139
無形固定資産合計	260	165
投資その他の資産		
投資有価証券	6,937	6,550
保険積立金	90	112
繰延税金資産	126	155
その他	490	608
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,636	7,418
固定資産合計	14,900	14,396
資産合計	43,038	54,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,146	3,492
買掛金	6,477	11,364
短期借入金	6,950	8,300
1年内返済予定の長期借入金	1,074	74
未払金	86	1,185
未払費用	1,121	1,220
未払法人税等	317	629
前受金	1,340	920
預り金	49	50
賞与引当金	307	436
役員賞与引当金	1	—
設備関係支払手形	4	6
その他	304	205
流動負債合計	20,181	27,887
固定負債		
長期借入金	202	1,165
繰延税金負債	549	583
退職給付引当金	5,988	5,722
役員退職慰労引当金	223	257
環境対策引当金	202	202
損害賠償引当金	4,098	2,589
長期預り保証金	64	64
その他	9	12
固定負債合計	11,339	10,596
負債合計	31,521	38,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△8,426	△5,187
自己株式	△44	△45
株主資本合計	8,954	12,193
その他有価証券評価差額金	994	1,062
為替換算調整勘定	204	285
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,348
少数株主持分	1,362	2,188
純資産合計	11,516	15,730
負債純資産合計	43,038	54,214

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	27,041	32,340
売上原価	21,875	24,870
売上総利益	5,166	7,469
販売費及び一般管理費	2,356	2,622
営業利益	2,809	4,846
営業外収益		
受取利息	87	80
受取配当金	16	19
為替差益	379	64
雑収入	120	65
営業外収益合計	604	229
営業外費用		
支払利息	44	43
航空事業安全対策費	178	341
雑損失	35	18
営業外費用合計	258	403
経常利益	3,155	4,673
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	3,151	4,675
法人税等	458	667
少数株主損益調整前四半期純利益	2,693	4,007
少数株主利益	40	767
四半期純利益	2,652	3,239
少数株主利益	40	767
少数株主損益調整前四半期純利益	2,693	4,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,356	68
為替換算調整勘定	479	138
その他の包括利益合計	1,835	206
四半期包括利益	4,528	4,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,283	3,388
少数株主に係る四半期包括利益	245	825

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,151	4,675
減価償却費	387	334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△53	△232
賞与引当金の増減額(△は減少)	177	128
受取利息及び受取配当金	△104	△99
支払利息	44	43
固定資産除売却損益(△は益)	3	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△9,253	△11,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,969	△662
仕入債務の増減額(△は減少)	2,432	5,989
前払費用の増減額(△は増加)	△32	146
未払金の増減額(△は減少)	△1,750	94
未払費用の増減額(△は減少)	△127	87
その他	△177	△23
小計	△3,307	△1,002
利息及び配当金の受取額	83	90
利息の支払額	△44	△43
損害賠償金の支払額	—	△516
法人税等の支払額	△332	△169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,601	△1,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	72	—
有形固定資産の取得による支出	△30	△30
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△0	△18
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	10	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	50	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,800	5,750
短期借入金の返済による支出	△10,807	△5,400
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△27	△37
少数株主への配当金の支払額	△331	△249
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366	1,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,823	△586
現金及び現金同等物の期首残高	6,928	4,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,104	3,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用等により、前々連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしましたが、前連結会計年度では2,282百万円の当期純利益を計上し、当第2四半期連結累計期間においては3,239百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limitedをはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第2四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第2四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化および希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

上記の対応を進め、着実に実行することにより、当該状況の解消、改善に努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,503	18,382	1,155	27,041	—	27,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,153	862	—	2,015	△2,015	—
計	8,657	19,244	1,155	29,057	△2,015	27,041
セグメント利益	504	2,712	101	3,318	△508	2,809

(注) 1. セグメント利益の調整額△508百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,628	17,691	1,019	32,340	—	32,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,282	886	—	2,169	△2,169	—
計	14,911	18,578	1,019	34,509	△2,169	32,340
セグメント利益	2,351	2,905	66	5,322	△475	4,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△475百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。